

創立143周年



学校だより

は え

南風の子

中種子町立 南界小学校

平成28年4月20日(水)発行

新たな可能性を拓く1年に

校長 岡留 祐宏

南界小学校143年目を迎えました。6名の新1年生を迎え、児童数32名となりました。子どもたちは、一つずつ進級し、新たな担任と出会い、とても新鮮な気持ちでこの2週間を過ごしています。

新鮮な気持ちの中味は、「繰り返しの1年ではなく、新たな可能性を拓く1年にしたい」という気持ちだろうと思います。転入してきた3名の職員を含め、10名の職員で力を合わせて、これからの1年間が、子どもたちの「かしこさ、やさしさ、たくましさ」をさらに積み上げ、新たな可能性を拓く1年になるよう努めていきます。子どもたちにも自分自身を大事に育ててほしいと思います。

保護者、地域の皆様には、本年度もよろしくお願いたします。



小学校最初の給食です(4月7日)

〜〜 子どもたちにさらに積み上げたい3つの力 〜

◇ かしこく

<さらに>

- 理由や根拠を明確にして、説明や話し合い、まとめる力
- 自学・予習の家庭学習

<基礎・基本>

しっかり聞き、きちんと話す
正しく読み、ていねいに書く
学習のルールを守る
できるまで繰り返し練習



◇ やさしく

<さらに>

- 人の気持ちに思いをめぐらす
- 感謝の心
- 人の姿に学ぶ心



<基礎・基本>

- ・基本的な生活習慣(あいさつ、返事、後始末)の徹底
- ・善悪・美醜を判断する心
- ・一緒に働き、協力する心

◇ たくましく

<さらに>

- 労をいとわない気持ち
- 苦しいところからの後一歩
- 伸びを実感、体力づくり

<基礎・基本>

- ・生活リズム(睡眠、食事、休
- 休、予防と治療の衛生習慣)
- ・徒歩での登下校
- ・継続する気持ち



指定文化財 釣り鐘堂跡・旧正門

校庭の一角に、釣り鐘堂跡と赤レンガの旧正門があります。釣り鐘堂は昭和3年、旧正門は明治32年に設置されたもので、昭和22年に中種子町の文化財に指定されています。

春休みに、その経緯を記した説明板が、学校の石垣の前にも設置され、釣り鐘堂横には標柱も立てられました。

当時、この釣り鐘は、校区民に朝昼夕の時刻を知らせ、その響きは遠く油久や野間にまで届いていたこと、「将来区民生活改善の希望を期待」された大切な鐘であったことなどが記されています。

戦時中に釣り鐘が徴発されたとのことですが、本校の多目的室には、熊野春男氏寄贈の「思い出の釣り鐘堂」と題した絵が掛けてあり、釣り鐘の姿を知ることができます。

当時の校区民の願いや生活ぶりを思い起させてくれる歴史的資料として、大切にしていきたいと思ひます。



学童保育、今年も よろしくお願いたします！

今年も下記の方々にご協力をいただき、学童保育が運営できます。

指導員の皆様には、子どもたちの宿題への声かけ、校舎内外での遊びの対応等、有意義な放課後になるよういろいろと御配慮いただいています。本年度も、よろしくお願いたします。

- 池山喜一郎さん 区長
- 提 一文さん PTA会長
- 熊野トメ子さん 指導員
- 鎌田 興子さん 指導員
- 小幡功好 さん 指導員
- 小幡さつきさん 指導員

